

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 相模テクノ	代表者	堀沢 暁子	法人・ 事業所 の特徴	・高齢者の方々に対し感謝し、尊敬と敬意を持って介護させて頂く事を理念とし、利用者寄り添い利用者本位の支援をしている。法人は小規模ながら、居宅介護支援、訪問介護・看護から通所介護、GH、小規模多機能、サ高住等多機能なサービスがあり、利用者の状態・ニーズに対応したサービスを提供でき最後（看取り）まで対応している
事業所名	グループホーム あかつき	管理者	神田美貴子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	4人	0人	2人	1人	0人	4人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域との関係作りに努め、相談窓口を明確にする。</li> <li>・地域資源について個々の職員の情報収集とケアマネとの情報の共有化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員でしっかり取り組んでいる様子は伺えたが、コロナ禍で書面会議での評価なので具体的な意見を伺えなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で書面会議での評価なので意見を伺えなかったが、具体的になっているかということに、わからないという意見も40%あった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ全員で事業所評価に取り組んだが、2名（看護師とケアマネ）が着任後2ヶ月程で事業所自己評価に取り組んだので、評価できない項目が多かった。勤務期間が少ない職員にも評価できるように、評価の際に各自内容を熟知し、意見交換をしっかりと行う。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が事業所に入りやすいよう、職員は来客者に笑顔で声かけができるよう徹底してゆく。</li> <li>・鉢形サニーヒルの母屋をオレンジカフェ等で地域交流の場として活用してゆく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で書面会議での評価なので具体的な意見を伺えなかった。</li> <li>・5つのチェック項目への回答から、事業所のしつらえ・環境については良いと評価されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で今年度は事業所に入れなかったが、ほとんどの評価者が以前に内部を知っている方々だったので、ほとんどの方がしつらえ・環境は「はい」と回答していた。</li> <li>・コロナ禍でオレンジカフェは中止、来客も入室禁止とした。</li> <li>・家族等の面会はガラス越しで5分以内とさせて頂いた。（苦しい選択をしている）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの問題が解決したら、改めてサニーヒルに地域交流の場を構築する。</li> <li>・コロナ禍の前までは月に1回オレンジカフェを開催していたが、あかつき利用者の参加がほとんどだった。地域の方々に参加しやすいオレンジカフェを開催する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サニーヒルを利用してオレンジカフェ等開催し、地域交流の場を作る。地域の方々とかかつきの利用者の方々の自然な交流を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域交流がほとんどできなかった。コロナ問題が解決したら、サニーヒルの有効活用を深めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で書面会議での評価なので意見を伺えなかった。</li> <li>・書面での評価だったが、職員の挨拶等ではできているという意見が多かったが、相談しやすい場所については、わからないという意見もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ問題解決後は認知症の専門施設としての経験を活かし、認知症の相談等を気軽にできる地域の相談窓口として活動する。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方々と連携を密にして、地域の困り毎等の相談に対応してゆく。</li> <li>・通所利用の方の地域の自治会やイベント等が分からないので、家族を通じ利用者の方が地域のイベントに参加できるよう支援してゆく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で改善計画にはほとんど取り組めなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者以外のご近所の心配な方に、事業所がかかわっていないという意見やわからないという意見もありました。2件程このようなケースがありましたが、今後一層の努力と協力が必要と感じました。</li> </ul>	<p>コロナ禍で改善計画を実行できなかったため、次のとおり前回の改善計画を引き継ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方々と連携を密にして、地域の困り毎等の相談に対応してゆく。</li> <li>・通所利用の方の地域の自治会やイベント等が分からないので、家族を通じ利用者の方が地域のイベントに参加できるよう支援してゆく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を生かした地域への貢献について、職員全員が取り組めるような体制を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域貢献の取り組みができていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の心配な方の事例検討が守秘義務等の問題もあり、取組が難しい。</li> <li>・書面会議での議事録だけでも、事業所の取組みはある程度説明できていたと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の改善計画が実行できなかったため、次の通り改善計画を引き継ぐ。</li> <li>・運営推進会議を生かした地域への貢献について、職員全員が取り組めるような体制を作る。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々にも参加して避難訓練や防災訓練を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で防災訓練等に地域の方々の参加ができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で書面会議での評価なので意見を伺えなかった。</li> <li>・ソーラ発電による非常時の電源確保や、AEDの設置、看護の確保等事業所の防災・災害対策をもっと地域に知らせ、地域への貢献を高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が終息したら、前回の改善計画を引き継ぐ</li> <li>地域の方々にも参加して避難訓練や防災訓練を実施する。</li> </ul>